道徳学習指導案

指導者

Ｔ１　学級担任

Ｔ２　栄養教諭

１．日時　　　　　令和元年11月14日（木）　第５校時（13：40～14：25）

２．学年・組　　　第４学年

３．主題名　　　　礼儀にこめられたもの　　（内容項目：Ｂ礼儀）

４．資料名　　　　フィンガーボール

５．ねらい　　　　人を大切にする気持ちがこめられた礼儀を理解することで、誰に対しても真心をもって接していこうという

心情を育てる

６．主題設定の理由

　（１）ねらいとする価値について

　　　　礼儀とは、型どおりの単なる社交辞令としての行動ではなく、相手への思いやりや気づかいが基盤となった行動、

すなわち真心をもって接しようとする心情が大切である。

　（２）児童の実態

　　　　※個人情報のため削除

　（３）教材について

　　　　女王様のお客様に対する一連の行動に込められた心遣いから、礼儀について考えることができる

　　　教材である。導入では、教材の内容を理解させるため、フィンガーボールを紹介する。展開では、

　　　役割演技を使ってお客様の様子を見ていた周囲の人の気持ち、知らん顔でフィンガーボールの水を

　　　飲んだ女王様の行為の背景について考えさせる。この場面をじっくりと確かめながら理解を深める

　　　ことを通して、相手に対する真心をもとにした「礼儀」の意味を理解できるようにしたい。

７．食育の視点

　　　食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。

８．本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な学習活動○Ｔ１発問　◎Ｔ２発問　　・予想される児童の反応 | 指導上の留意点（○）、準備物等（●）期待する児童の学習（＊） |
| 導入 | ○今日は、礼儀について考えます。（１）身の回りの食事のマナーについて知る。　　 どんなマナーがあるのかを出し合う。◎食事中のマナーには、どんなものがありますか。・音を立てない。・お茶わんを持って食べる。・立ち歩かない | ○児童から出たほかに、お箸のマナー　（人を指す、突き刺すなど）を紹介する。○外国の食事のマナーの一つとしてフィンガーボールを紹介する。●フィンガーボールの写真を貼る。　（役割演技で使う実物を紹介する。） |
| 展開 | （２）教材「フィンガーボール」を読んで話し合う。○外国のお客様がフィンガーボールの水を飲んだのを見た周りの人はどう思ったでしょう。・マナーを知らないなんて下品だ。・女王様の前でなんて失礼だ。○女王様はフィンガーボールの本当の役割を知りながらも、どんな気持ちで知らん顔をしてフィンガーボールの水を飲んだのでしょう。・お客様は使い方を知らなかったんだな。・このままでは、周りの人に笑われて恥をかかせてしまう。・お客様に楽しく食事をしてほしい。○周りの人は、女王様の行動を見て、どう思ったでしょう。・女王様を見習って、お客様が自分のまちがいを知って　恥ずかしい思いをしないように、自分も知らないふりをしよう。・お客様を気づかう女王様ってすごい。○あとで自分の間違いを知った時、お客様は、周りの人と女王様のことをどう思ったのでしょう。（周りの人に対して）・私のために笑わないでくれてありがとう。・周りの人は、気づかいができる人なんだ。（女王様に対して）・失敗が周りに分からないようにしてくれてありがとう。・女王様も、気づかいができる人だ。（３）マナーについて話し合う。○マナーとはどんなものですか。また、何のためにあるのでしょう。・真心を持って、相手を気遣いながら行うことが本当のマナー。・自分だけでなく、周りの人もお互いに気持ちよく過ごすためにある。 | ●黒板にお客様がフィンガーボールの水を飲んでしまう挿絵を貼る。○挿絵に描かれている周りの人の表情にも注目させる。○部分的な役割演技を加える。（Ｔ１,Ｔ２）●黒板に女王様がフィンガーボールの水をお客様と同じように飲む絵を貼る。○お客様を気づかう女王様の行為を支える真心の存在やその内容を考える。○女王様の行為の裏には、相手に対する真心がこもっていることを知り、周りの人もお客様を気づかう気持ちになったことをおさえる。○挿絵の表情も参考にする。○女王様や周りの人たちへの思いを考える中で、感謝する気持ちがあることに気づくことができるようにする。また、その感謝は自分への真心を伴った気づかいに向けてであることを導き出す。＊登場人物の気づかいに気づくと共に、相手への真心が込められた行為こそが本当のマナーであることを考えることができる。○道徳ノートに自分の考えを記入し、話し合い活動で生かす。○道徳ノートに書くことで、本時の学習についての自分の考えを整理する。＊マナーの意味について相手の真心も含めて考えている。 |
| 終末 | （４）授業のふり返りをする。　○今日の気づきをまとめましょう。　○気づいたことを発表しましょう。　 |  |